

研究主題 「新たな価値の創造～深い学びの実現を目指して～」

本研究会は、本年度より新学習指導要領の趣旨と世の中の変化に合わせて、新しい研究主題のもと価値を更新していく子供たちの育成を目指して研究を進めて行くこととした。子供たちにこれから時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようになるためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が欠かせない。特に各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、教科等の学習と社会をつなぐものである「見方・考え方」を働かせることが重要になる深い学びは、教科の目標やねらいに迫るために重要なものであり、子供が、生活科における「身近な生活に関する見方・考え方」総合的な学習の時間における「探究的な見方・考え方」を自在に働かせることができるような学びを作り上げることが、本研究会の目指す「新たな価値の創造」につながると考える。以上のことから、本研究会では7つの分科会がそれぞれの視点から、目指したい深い学びの姿やその実現に向けた手立てについて考え、研究を進めて行くこととした。

今年度の研究

教科・領域、会場、分科会名	生 活 科	視 点 (キーワード)	A 目黒区立油面小学校	B 杉並区立松庵小学校	C 渋谷区立神南小学校	D 新宿区立西戸山小学校	E 武蔵野市立境南小学校	F 世田谷区立世田谷小学校	G 新宿区立落合第三小学校	新たな価値との関連
			深い学びを実現する環境構成の工夫 カリキュラムマネジメントの充実	人との関わり 他者との交流	表現活動の3つの機能 思考と表現、気付きとの関係	活動の停滞感や行き詰まり感 ブレークスルー（意図的・偶発的）	発達段階の思考の特性 発達段階を踏まえた探究課題	教科の学びを活かしたまとめ・表現 教科横断 目的意識・相手意識	子供が動き出す場面 教師の見取りや柔軟な対応	
両方										

11月研究会・公開授業の事例

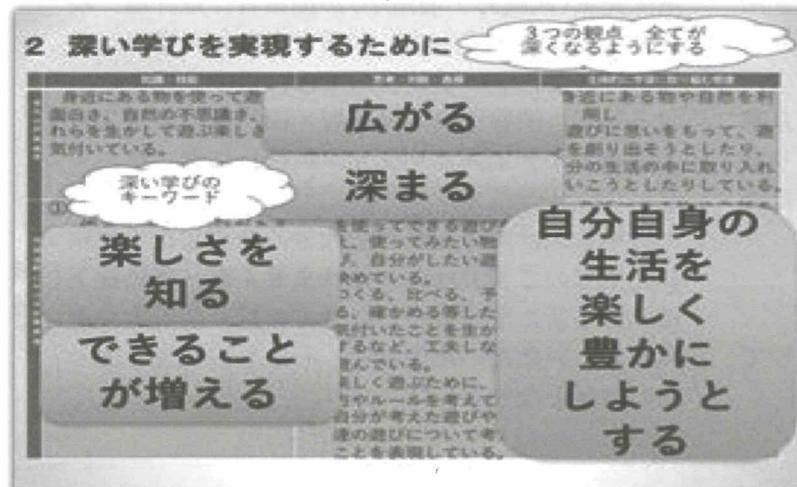
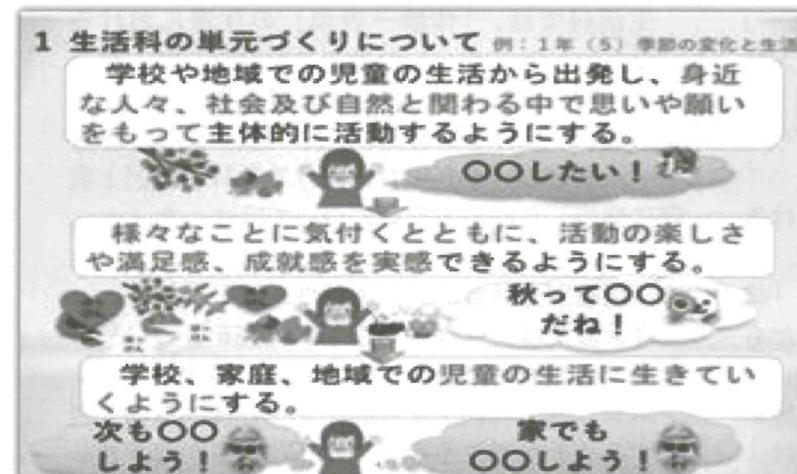
2年 生活科「あそんで ためして くふうして」

大田区立久原小学校 小笠原さちえ 指導教諭

単元の目標（全16時間）※内容(6) 自然や物を使った遊び

身近にある物や自然を利用して遊ぶ活動を通して、工夫しながら遊んだりつくったりし、その面白さや不思議さ、遊びを創り出す楽しさに気付き、自分の生活を楽しく豊かにすることができるようになる。

【深い学びを目指して】 環境構成の工夫をすれば、深い学びを実現することができるのではないか。



本時の目標 ○身近にある物から関わりたい物を自分で選び、工夫しながら遊ぶことができる。

深い学びを実現するための手立て（環境構成）

(1) 児童一人一人が思いや願いをもつことができる環境



(2) 自己決定し、主体的に関わることができる環境



(3) 試行錯誤しながら考えを深めることができる環境



(4) 人との交流を通して新たなことに気付いたり、次の思いや願いをもったりすることができる環境



(5) 自分自身の成長に気付くことができる環境

成果

様々な発見を通して自然の不思議さに気付くことができた



休み時間にも自然の物を使って遊ぶ姿が見られた

物を大切にするようになった。

課題

- ・家庭や地域との連携を図ること
- ・学校の指導の重点との関連を図ること